

カジノ解禁推進法案の

問題点を考える

「カジノに日本の復興と未来を賭けますか？」

「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法案」（いわゆる「カジノ解禁推進法案」）が先の通常国会において提出されましたが、継続審議となり、秋の臨時国会でも審議される予定です。

政府の成長戦略にカジノが挙げられていたことなどからすると、秋の臨時国会では、この法案が成立するおそれがあります。

しかし、そもそもカジノは賭博場そのものであり、賭博行為は犯罪を誘発し、国民経済の機能に重大な障害を与えるおそれがあるなどとして禁止されてきました。さらに、カジノには、ギャンブル依存症を増加させるという問題があります。

このような様々な問題を抱えるカジノに、被災から立ち直ろうとする日本の復興を委ねて良いのか、共に考える集会を開きたいと思えます。

ぜひご参加ください。

1 基調報告

カジノと『カジノ解禁推進法案』の問題点

弁護士 畠山 裕太氏

2 講演

カジノをめぐる全国自治体の動きと、ギャンブル依存症に対するその認識



講師

古川 美穂氏

ジャーナリスト

3 パネルディスカッション

●パネリスト

ジャーナリスト 古川 美穂氏

弁護士 新里 宏二氏

(全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会代表幹事)

●コーディネーター

弁護士 太田 伸二氏

2014

9/28 [日]

Sun
13時30分開始
16時30分終了予定

入場
無料

仙台弁護士会館4階

(仙台市青葉区一番町2丁目9-18)

※ 事前申し込み不要



主催 仙台弁護士会

問い合わせ先/仙台弁護士会 TEL 022-223-1001(代)